

2016年10月12日

プレスリリース
報道関係各位

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
(JASDAQ コード 8769)

ヤンマーにストレスチェックサービスを導入

～グループ 27 社を含め 1 万 3 千人のメンタルヘルス対策を推進～

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:鳥越 慎二、以下「当社」)は、ヤンマー株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:山岡 健人、以下「ヤンマー」)とそのグループ会社 27 社に、当社が提供するストレスチェック義務化に対応したメンタルサポートプログラム「アドバンテッジ タフネス」を導入したことをお知らせします。

産業用エンジンや、農機、建機、エネルギーシステム、小型船舶等を幅広く事業展開するヤンマーは、海外を含め 70 以上の拠点およびグループ会社を有しています。同社では、世界中のお客様に唯一無二の価値をスピーディーに提供できるよう、これまでの働き方を一から見直し、ヤンマーにしかできない価値を生み出すための基盤作りに取り組んでいます。

このたび同社は、昨年 12 月に施行されたストレスチェック義務化に際し、当社の「アドバンテッジ タフネス」の『スタンダード』プランを導入しました。選定にあたり、当社のこれまでの導入実績が評価されたほか、厚生労働省が示す 3 要素である「ストレス要因」「ストレス反応」「周囲からのサポート」に留まらず、「個人のストレス対処(=タフネス度)」や「仕事への熱意度(=エンゲージメント)」を取り入れた幅広い設問項目が同社のニーズに合致しました。

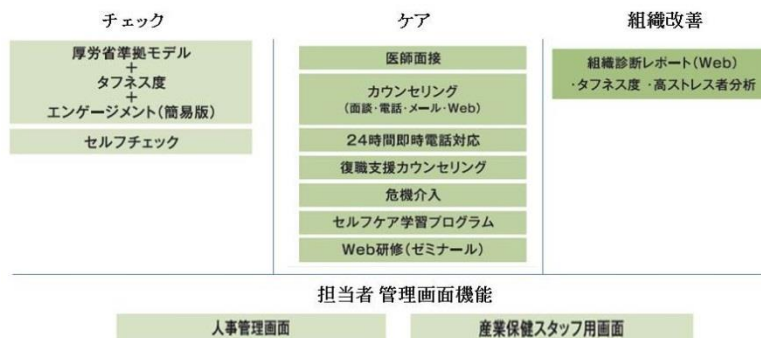
なお、ヤンマーは、国内主要グループ 27 社及び海外出向者を含めた従業員約 1 万 3 千人に対し、本年 7 月にストレスチェックを実施しました。

■担当者のコメント

ストレスチェックを通し、社員自身が自分の抱えるストレスに気づき、対処することにより、メンタルヘルス不調の未然防止につながることを期待しています。

【「アドバンテッジ タフネス」『スタンダード』プラン概要】

厚生労働省が示す 3 要素(「ストレス要因」「ストレス反応」「周囲からのサポート」)を含んだ「準拠モデル」に、「タフネス度」や「エンゲージメント」を付加。医師面接やカウンセリングをはじめとしたケアや組織改善を含めたサービスをパッケージで提供。



【お問い合わせ先】

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント

(取材・広報に関して)

経営企画部 : 小林 幸子/大橋 健一

(サービス内容に関して)

メンタルヘルスケア部門統括 東京営業本部

<http://www.armg.jp>

TEL:03-5794-3890

TEL:03-5794-3830